

扶桑菅廟最初

防府天満宮

佐加太利とは御鎮座地天神山の古来名「酒垂山」からとったものです

佐加太利



令和2年
秋冬号

106号



目次

1 点描／中秋の名月

2 巻頭言

3 崇敬会だより
ひたぶる

寄稿

5・4 「これが神社のちから
これが天神様のお蔭」
防府天満宮七夕まつりを奉仕して

防府天満宮鎮座考と
御神幸祭

左遷のみぎりの足跡にみる
道真公の心情

8 「予祝詣」

初詣は二十五日から

9 お札・お守のご案内
郵送での申込みについて
ご結婚おめでとう

社務所だより

11・10 天神様の夏から冬く日誌抄
TOPICS

12 初詣・新春の祭事行事案内



第六巻 9m20cm

第五巻 13m31cm

第四巻 12m12cm

第三巻 13m80cm

第二巻 14m30cm

第一巻 13m10cm



古くて「新しい日常」

宮司 鈴木宏明


防府天満宮の御神幸祭は毎年五千人も裸坊が道真公の御霊わみたまを乗せた御網代輿・神輿を御着船の地勝間の浦までお連れし、御霊に「無実の知らせ」をお伝えする千年以上続く重要な神事です。しかし、今年の御神幸祭は密を避けるため御網代輿・神輿の出御も叶わない事となり、裸坊奉仕のない大変静かな祭りとなりました。裸坊のいない御神幸祭は昭和六十三年昭和天皇の御不例の時以来と記憶しておりますが、御網代輿・神輿のない御神幸祭は私にとって初めての経験です。コロナ禍の中の苦渋の選択とは言え、楽しみにしていた裸坊や参拝者、そして第一に大神様に大変申し訳ないことであつたと感じております。

この一年間、日本のみならず世界で旅行や帰省といった人の行き来が制限されました。そのお蔭で、家族でさえ結婚式や葬儀に至るまでその瞬間に立ち会うことができないうというニュースもよく耳にしました。「会いたいのに会えない」何ともやるせない思いをされた方も多いことと思います。

当宮神道家の中に「年祭(※)に帰りたいが叶わない。祭りの時間に一緒に手を合わせたいので時間を知らせてほしい」と連絡を下された方がいらつしやいました。最近では手軽にリモート中継することもできますが、この時は祭典の様子を写真に撮りお送りしました。後日お電話でお話すると大変安心された様子でした。しかし同時に、その写真が安心を更に強く「会いたい」という気持ちに昇華させたのでありましょう、「次のお祭には絶対に帰りたい」と結ばれました。

さて来年は丑年です。御承知の通り菅原道真公と牛との縁は深く、牛は天神信仰のシンボルとされています。道真公の亡骸をお乗せした車を引いていた牛が臥ふして動かなくなり道真公は牛をして「ここに留まりたい」と啓示されたので、牛は道真公の神使えとして強い霊力を持った獣どうぶつと信仰されています。その霊力で、いま世界を震撼させているコロナ禍をも退散させてくれることでしょう。私たちはコロナ禍で直接会うことの難しさと大切さを改めて感じさせられました。新しい年が天神様のご加護によって何時でも会いたい人に会える古くて「新しい日常」を取り戻す年になればと願っております。

(※)年祭とは故人の御霊が安らかであるように節目節目に行う祭

※本ページの天地に掲載した(重文)松崎天神縁起絵巻は、全六巻計約75メートルにおよびます。本号ではその  の部分を紹介しています。

第六巻 9m20cm

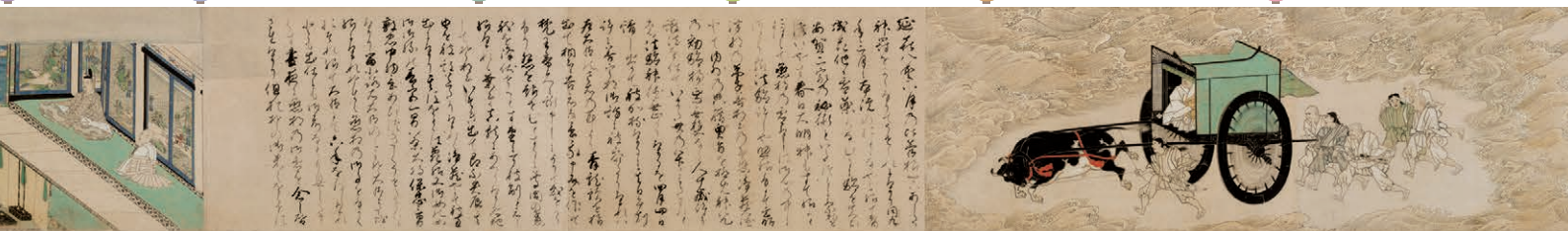
第五巻 13m31cm

第四巻 12m12cm

第三巻 13m80cm

第二巻 14m30cm

第一巻 13m10cm





崇敬会だより〜令和御大礼記念事業「菅公百人一首扁額」紹介〜

「菅公百人一首」とは歴代文化人百人による菅公を称える和歌から一人一首選んだものです。

「菅公百人一首扁額」を揮毫制作ご奉納いただいた

うめの花さきにはひけり神さふる

きたのの松のこのまこの間に

西五辻文伸作

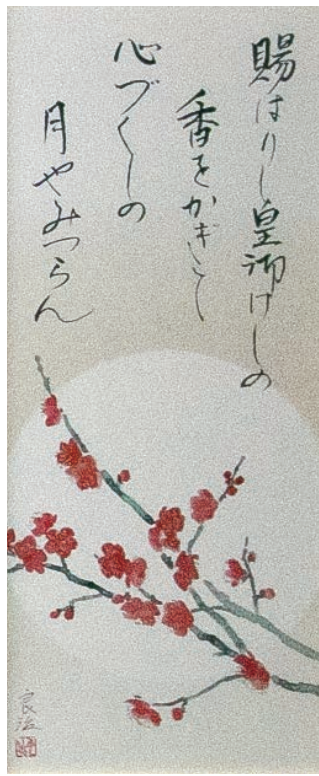


〔解釈〕梅の花が美しく咲いているそれは神様のように古くから立っている北野の松と松の間にまるで神が宿っているようだ

賜はりし皇御けしの香をかぎて

心つくしの月やみつらん

長谷信道作



〔解釈〕いただきましたところの恩賜の御衣の香りを嗅いでこの筑紫の地のお月様も私と共に照らして見て下さるであろう

馬場良治氏

(日本画家/山口県宇部市在住)

国宝や重要文化財復元の第一人者。東京藝術大学大学院で保存修復技術を研究。昭和五十九年から文化庁の依頼を受け、国宝や重要文化財の色彩調査と修復に取り組んでいらつしゃいます。

【主な修復・復元】

国宝醍醐寺五重塔の天井部などの装飾の修復、国宝大崎八幡宮の梁に描かれた竜の装飾画を修復。三千院(国宝)阿弥陀三尊坐像像収蔵の往生極楽院「船底型天井画」を再現。他、北野天満宮壁画、宇治平等院鳳凰堂復元模写など多数

新規会員紹介

令和二年四月六日以降入会の方々です。(敬称略)

- 法人会員
 - ㈱磯野商店 防府市華浦
 - 共立工業㈱ 宇部市朝日町
- 特別会員
 - 笹井節子 防府市国衛
 - 戸川加代子 防府市自由ヶ丘
- 家族会員
 - 渡辺伸一 東京都墨田区
 - 西田衣里 宇部市上宇部
 - 北山邦興 防府市台道
 - 河村幹夫 周南市羽島
 - 乾 則文 防府市警固町
 - 富重辰夫 徳島県板野郡
 - 桃島廣昭 防府市大字田島
 - 尾崎邦子 防府市開出西町
 - 石井真理子 周南市小松原
- 個人会員
 - 三木 清 防府市開出本町
 - 稗田朱実 防府市高井
 - 弘中まみ 千葉県市川市
 - 中田憲子 岩国市今津町
 - 大村照幸 防府市多々良
 - 大和久美子 防府市千日
 - 藤澤慶汰 防府市西浦
 - 久保雅弥 防府市桑南
 - 田村由紀子 防府市佐野
 - 末富 博 防府市新田
 - 黒川紀文 山口市黒川
 - 佐鹿健治 防府市田島
 - 牛尾健太郎 防府市自由ヶ丘
 - 中川博道 防府市開出西町
 - 村山友香 防府市台道
 - 鞘野正人 福岡県築上郡
 - 丹羽都美 岐阜県岐阜市
 - 植田雅恵 防府市警固町
 - 五代明孝 山口市吉敷
 - 近本裕美子 防府市追戸町
 - 土本純子 下松市桜町
 - 田邊 勇 防府市追戸町
 - 清水マリリン 広島県大竹市
 - 木原正二 防府市鑄物師町
 - 村上安信 山口市秋穂東
 - 入江孝治 防府市富海
 - 河本仁尚 広島市安佐北区
 - 河本慶子 大阪府中央区
 - 貞永正子 防府市警固町
 - 高橋正成 防府市切畑

※崇敬会入会ご希望の方は、同封の崇敬会のすずめをご覧下さい。

ひたぶる

権禰宜 高橋正成

昨今、新型コロナウイルスが世界中を混乱させており、関連報道を目にしない日は無い。特に私たちは志村けんさんがコロナ禍で急逝して以来、より一層コロナの感染拡大を警戒するようになったと感じる。

日常に変化のあった人も多いだろう。その中で特に注目されているのが出来るだけ三密を避け人と対面せずに生活する、オンライン形式ではないだろうか。仕事から買い物に至るまで日常的にオンラインで行われている。

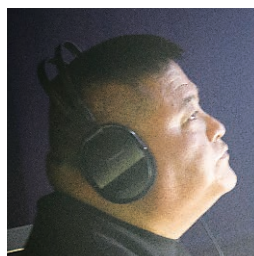
神社も例外ではない。三密回避はもちろんのこと、消毒やソーシャルディスタンス

確保を喚起する看板を立てるなど細かい点まで注意を払っている。神様や神社と人との繋がりに変化があった。特に印象に残っているのは「今年は郵送で御守りを受けるがコロナが収まったら必ずお参りに行く。」といった声を多くいただいたことだ。コロナの感染拡大防止のため、御社殿に直接お参りができなくなり、改めて有難さや安心感という神様に対する人の心に気づかされた。コロナ終息後も皆様に安心して天神様にお参りできるよう日々真心のある奉仕を続けなければならないと感じている。

これが神社のちから これが天神様のお蔭 防府天満宮七夕まつりを奉仕して

防府市迫戸町
ライトカントリー 代表

藤原壮一 (舞台照明家)



▼世界遺産萩反射炉



一昨年春、防府天満宮七夕実行委員会の方から「境内でライトアップのご奉仕頂けないか?」とお話を頂きました。その時独立間もない私は孤軍奮闘しながらも、プロとしてのプライドを持って仕事をしていましたから「ご奉仕はちよつとなあ」と思いましたが、「社殿だけでなく、みんなで考案した傘玉というオブジェをライトアップしてほしい」との熱のこもったお話を聞きし、ついに私はその熱にほだされて実行委員会に巻き込まれてしまいました(笑)。しかし後になって気が付いてみると、巻き込まれたはずの私が、実はみんなを巻き込んでしまっていたのです。

コロナ禍のため、実はこの三月から六月にかけて仕事のキャンセルが相次ぎ、業界から離れざるを得ない友人もありました。私も「どうせ

天満宮の七夕まつりも中止だろうなあ」と知らず知らずのうちに心が病んでしまいうようになっていた、そんな時でした。実行委員会から「コンサートなどの恒例の催しは中止ですが、こんな時だからこそ天満宮から防府のまちを元気にしたいので、社殿と傘玉のライトアップはやりたい。いつも以上に」と連絡を頂き、その瞬間、病みかけていた私の心がパツと晴れやかなりなりました。ひらめいたのはリモート操作によって変幻自在に色を変えられる装置を導入し、今までにない光のページェントを繰り広げようという案でした。残念ながら自前でそのような機器は揃いませんがそこは「蛇の道は蛇」、理想の照明機器を見つけてはできました。が、そのお値段、何とレンタルで数十万円、買えば数百万円するとわかり、お断りせざるを得ませ

んでした。事情を察した先方の社長が「どのよなことに使用されるのですか?」と声をかけて下さいました。「実は山口県防府市の防府天満宮の七夕まつりで」とお話すると、「私は下関出身なんです。学生の頃、受験でお世話になりました。もちろん合格して今があります。天満宮は思い出の場所ですからお礼の意味も込め是非使して下さい」とお申し出下さいました。天様に感謝です!

ちょうどその頃文化芸術の意識の高いドイツでは、照明マン達が各地を真っ赤にライトアップして「エンターテインメントは今、赤信号である」と窮状を世界に訴えていました。そんな活動を知る各地の照明マンがオンライン飲み会をしていた折「自分たちもドイツのように何かできるんじゃないか」。コンサートやイベント

といった業界に携わるすべてのスタッフの仕事復帰や医療従事者への感謝、そして日本・世界中の人々を応援しよう！」となり、これが全国の照明マンと共に日本各地を一斉にオレンジ色でライトアップするという日本照明業界初の取り組みへと発展しました。

私はこの全国企画を是非七月六日の天満宮七夕まつりにジョイントさせたいと考え、鈴木宮司に相談したところ快諾を頂きましたので、すぐに参加申し込みをしました。ところが、当日は有名アーティストの舞台照明に携わる名立たる照明屋が参加、加えて参加約百二十か所の模様をネット配信すること。「これは田舎の照明屋には恐れ多い」と私は配信の参加をお断りしましたが、やはり参加することに(笑)。全国の照明屋が見守る中、中継では鈴木宮司にもご出演頂きました。傘玉と社殿のライトアップを見た本部からは「すばらしい企画ですね」とお褒めの言葉を頂き、特に傘玉は「誰がどのようにつけているのですか？」と七夕まつり自体の企画に興味津々でした。なぜなら、他の企画は自社ビルや鉄塔、倉庫といった既存の建物をいかに美しくライトアップするかの競演でしたが、私の企画は傘屋さんが傘を提供し照明とは関係ない七夕実行委員のみんなで傘玉をつくる、おまけに宮司まで出演させるという、地域や周囲を巻き込んだ企画だったからです。

天満宮をきっかけに全国各地様々な場所へこの発想が広がり、北は北海道の宗谷岬、南は沖縄の日本最西端の地である与那国島までトータル

二百七十か所以上、四十七全都道府県で行われました。

私ははじめ「ご奉仕なんて…」と思い、七夕まつりに巻き込まれたと感じていました。ところが終わってみると巻き込まれたのではなく、実はご奉仕の中で私がみんなを巻き込んでいた事に気付かされました。神社とは不思議な所だと感じました。以前鈴木宮司から「神社は地域のみんなに支えられている」と聞いたことを思い出しました。実際この七夕まつり実行委員会には防府商工会議所をはじめ防府観光コンベンション協会や市、地元一般企業など官民一体となり地域を挙げて組織されています。その時鈴木宮司は「神社は老若男女が利害を越え、イデオロギーを越え集い憩う場所なんです」と付け加えられました。「そうなんだ！神社という存在自体が地域の縮図といえ、この実行委員会に巻き込まれたお蔭で私は『地域の一員』となることができただ」と今まで感じたことのない新しい力が心の底から湧いてきました。その新しい力が大きな自信になり、自身主催の公演会を開催するなど仕事も少しずつ増えはじめています。「ご奉仕を通じ『これが神社のちから』これが天神様のお蔭」なんだ」と改めて知る事ができました。

山口県では、藤原壮一氏により防府天満宮をはじめ、英雲荘(防府市)、FM山口電波塔(山口市)や本州最西端の地毘沙ノ鼻(下関市)、世界遺産の萩反射炉でライトアップが行われました。



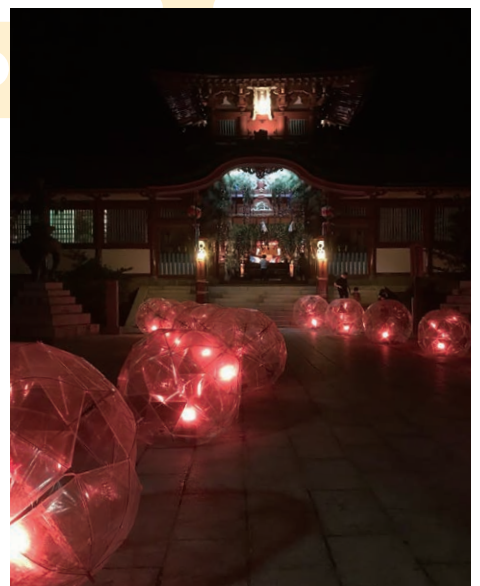
▲毘沙ノ鼻(下関市)



▲英雲荘(防府市)



▲FM山口電波塔(山口市)

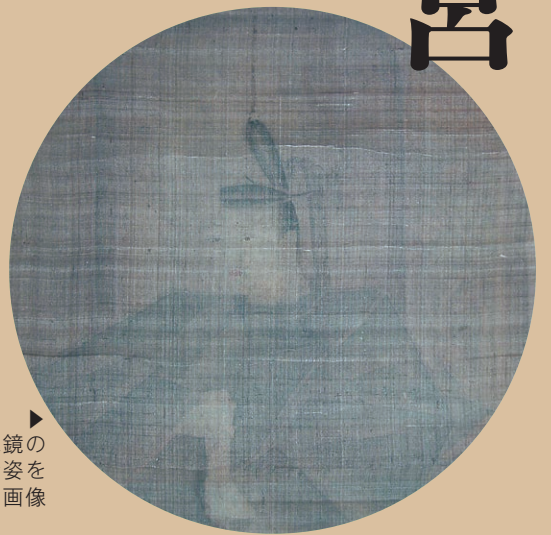


▲防府天満宮(防府市)

防府天満宮 鎮座考と 御神幸祭

左遷のみぎりの足跡にみる

道真公の心情 上



周防国分寺の「水鏡の井戸」に映ったお姿を描いたと伝わる自画像 (周防国分寺 蔵)

松崎光太郎

防府天満宮のご祭神である菅原道真公は、昌泰四年（九〇二）無実の罪により、京都から大宰府へと左遷されました。諸説あるも海路や陸路を使い瀬戸内海を西へと進みながら己の無実が晴れるのを願っていたといわれています。この度は左遷のみぎりの足跡を読み解き、道真公が道中どのような心情の変化をしながら防府に到着したのかを紐解いていきます。

生前に道真公は讃岐守（香川県）に任じられていたことや左遷で西下された事から瀬戸内海には道真公ゆかりの場所が（「菅公御足跡一覽」による）一五三か所あります。これを大きく時系列で分類すると、①左遷前、②

左遷のみぎり（道すがら）、③左遷後の足跡に分けられます。この度の話に関係する②の伝承の数は79か所あり、これを筆者なりに内容を整理してみると、

- ・ 腰掛石の類 たぐ 32か所
 - ・ お手植えの木の類 9か所
 - ・ 井戸・川・池など水の類 16か所
 - ・ お立ち寄り（休憩・上陸）の地の類 22か所
- 以上の4通りに分類することができました。【地図1】さらに視点を変えて伝承内容を細かく確認すると、「道真公が自ら行われた行為によって残された伝承」（「お手植えの木の類」と「井戸・川・池など水の類」



というものが目に留まります。更に「井戸・川・池など水の類」の中には、「井戸を掘る」「祈る・占う」「水に顔を映す」という三種の行動が存在しています。まとめてみると道真公が里人のために井戸を掘った伝承は3件（岡山県玉野市、広島県尾道市、広島県三原市）、祈る・占う伝承は2件（広島県呉市、愛媛県松山市）、顔を井戸（水）に映して憂いた（自画像を描いた）伝承は6件（山口県防府市、山口県下関市、福岡県北九州市、福岡県福岡市、福岡県太宰府市、佐賀県鳥栖市）。またお手植えの木の伝承は9件（兵庫県神戸市2件、加古川市、明石市2件、高砂市、洲本市2件、広島市因島

市)でした。

これら地図に落とし込んでみます。【地図2】

すると、井戸・川・池など水の類やお手植えの木の類に関しては、その分布に明らかな相関する関係がみられます。まず、◎には地域的な重なりがありません。さらに▲は△伝承と同じ地域(畿内より広島県)と重なります。次に●の「水に顔を映す」は山口県防府市以西にしか分布していません。○「祈る・占う」は広島県呉市と愛媛県松山市の二例です。

これらの地域的傾向と伝承内容、さらにその時点における菅原道真公の心情を推し量りながら読み取ると、京都・大阪から呉までの区間では馬食も与えられず苦しい旅でありながら、◎里人のために井戸を掘る、▲樹を植えるといった生産的な行動に基づく伝承が多く、政治家としての意識をまだもっています。言い換えれば己の無実を確信していたといえるでしょう。

呉からは門人・味酒氏ゆかりの地である四国松山に寄ります。用意された船は半壊の粗末なもので、まさに旅の行く末を案じさせるものであったでしょう。このあたりから疲労もピークに達していたと思われる、道真公の気持ちにも変化がおきます。その結果「井戸で身を清め祈る」、そして「井戸で吉凶を占う」といった伝承に変わっていきます。呉、松山そして防府までの旅路はまさ



▲道真公が周防国分寺(741年創建)境内でそのお姿を映された「水鏡の井戸」

に不安の旅路であったと言えます。

そして、本州最後の地(寄港地)山口県防府市に到達します。呉までは確信していた「無実」も、呉からの船旅では段々とその自信も揺らぎ始め、ついには本州最後の寄港地・防府にて(無実の知らせはなく)流刑は確定、初めて訪れたであろう本州西の外れの防府という場所を最後に、京都へ戻る望みは絶たれてしまいました。

その深い悲しみと藤原氏に対する怒りは想像にして余りあるものがあります。然るに防府から九州太宰府への旅路には、その怒りと嘆きでやつれたご自分の顔を井戸(水)に映し失意の自画像を描くという伝承となっていくます。防府到着以前にはない、この伝承の意味するものは大きいと考えられます。そして防府からの旅路は失意と嘆きの旅路でありました。

防府を出発される際に道真公は「この地未だ帝土を離れず 願わくば居をこの地に占めん」【重文松崎天神縁起絵巻第六巻】

「無実の知らせは入ってなかったが本州最後の寄港地となる防府の地は、まだ京都と地続きである。願うことができればここに住まいを造り無実の知らせを待っていた」と言葉を残されました。ここに防府天満宮の鎮座と創建の根本があるといえましょう。

次回④は、道真公の左遷のルートに迫っていききたいと思います。

御足跡からわかる道真公の心情の変化

地図2

左遷の砌に於ける足跡の分類分け		印	数
(井戸・池・川) 水の類	井戸を掘るの類	◎	2
	祈る占うの類	○	2
	水に顔を映すの類	●	6
	その他	○	6
お手植えの木の類		▲	9



新型コロナウイルス感染拡大防止の為 **分散参拝** をお願いしています



よ しゆく もうで

予祝詣

名付けて

防府天満宮は
令和2年
12月25日(金)
からお正月

～正月の縁起物・破魔矢・干支置物などの頒布を開始します～



12月 25日 (金)	26日 (土)	27日 (日)	28日 (月)	29日 (火)	30日 (水)	31日 (木)	1月 元日 (金)	2日 (土)	3日 (日)
令和2年予祝詣期間							令和3年初詣		

特別奉製

『合格うけおいマスク』 授与のご案内

「予祝詣」期間中、(12月25日～31日)に受験合格祈願ならびに受験合格郵送祈願(31日到着分まで、初穂料5千円以上)を受けられた方には『合格うけおいマスク』を授与します。なお、元日以降は初穂料1万円以上をお納めの方に授与します。*授与はマスクなくなり次第終了

予祝とは：
豊作を祈って予め期待する結果を模範的に表現すると、そのとおり結果が得られるという日本古来より続く習わし(前祝い)。春に満開に咲く桜を秋の稲の実りに見立てて仲間たちと先に喜び、お祝いすることで願いを引き寄せようとする花見も予祝のひとつと云われています。



新型コロナウイルス対策について

防府天満宮では新型コロナウイルス感染拡大防止の為、三密の回避、各所の定期的な消毒や屋内の換気、職員の体調管理徹底など様々な感染症対策に万全を期して、ご参拝の皆様がより安全に安心してご参拝頂けるよう日々努めております。又、正月企業(団体)参拝につきましては6名以上の場合参集殿2階ホール神殿にご案内致します。詳しくはホームページをご覧ください。ご理解ご協力宜しくお願い致します。

神社の対策				皆様へのお願い		
施設内消毒清掃を行なっています。 THE FACILITIES ARE REGULARLY DISINFECTED	換気を行なっています OPEN FOR VENTILATION	職員の体調管理徹底 WE ARE CAREFULLY MONITORING STAFF HEALTH	距離をとってください KEEP SOCIAL DISTANCE	発熱・体調のすぐれない方はご遠慮ください PLEASE DO NOT ENTER IF YOU HAVE A TEMPERATURE OR FEEL UNWELL	控えめな会話にご協力願います QUIET PLEASE	距離をとってお座りください KEEP SOCIAL DISTANCE

延喜四年(九〇四年)菅原道真公をお祀りする日本最初の天神さまとして建立された防府天満宮

道真公は学問と武道に大変すぐれておられました。が何よりも家族を大切にされるやさしいお心の方でいらっしゃいました。

そのような道真公の大前代
今お二人の新しい人生が始まります。

御初穂料
十万円(雅楽付参進あり)
五万円

ご友人の参列
ご両家の御了解があれば、ご友人の参列も可能です。

お申込み
社務所までお越し下さい。お問い合わせはお電話にて。詳しくはHPをご覧ください。

受付時間 9時～17時
※神社の祭事行事によりご希望の日時に添えない場合がございます。



神前結婚式の案内

御札・御守のご案内

（郵送でのお申込みも受け付けております）

〈御札・御守〉の郵送申込について

同封の振込用紙（青色）の通信欄に御札・御守の種類と必要体数を明記の上、御初穂料と送料手数料五〇〇円を添えてお申込み下さい。尚、破魔矢・熊手等縁起物の送料は着払いとさせていただきます。※詳しくはHPを御覧下さい。

〈ご祈願祭〉の郵送申込について

同封の『新春に祈りを込めて』及び『厄除け星祭』の御神楽受付書と振込用紙（赤色）をご利用の上、お申込み下さい。
※当宮HP上でも受け付けております。
※ご祈願初穂料は5,000円以上とさせていただきます。



左記QRコードでホームページにアクセスできます



御紙札 御木札



家庭・仲間・そして2人の
LOVE神社「絆」守

限定
100体

維新の志士も
崇敬した道真公の
「志」御守



受験の神さまは落ちません
航空安全「空」御守

正月縁起物



（張子）

熊手



（木彫）

千支縁起物



あこ破魔矢

ご結婚おめでとう

お二人の未永い
お幸せを
お祈り致します

令和2年	神社奉式分/敬称略
6月6日	平崎 貴昭・朋子
27日	川崎 誠司・加奈
8月29日	清水 秀俊・陽子
9月6日	青木 竜彦・美咲
10月31日	山本 侑生・莉恵
11月1日	久富 貴大・美紀
8日	野村 憲治・朱花
14日	白野 翔悟・真帆
22日	藤田 博之・有紀子
西 渡邊 尚彦・紫帆	
12月6日	上野 亮輔・真央
27日	山近 優太・侑里
	徹 香代



▲雅楽を奏でながらの参進式はお2人の心に残る結婚式となります。



社務所だより

御誕辰祭

は新型コロナウイルス感染症拡大防止の為、大花火大会をはじめ殆どの行事が中止された中、防府観光コンベンション協会が防府青年会議所等と連携して、期間中LEDブルーライトによる「万灯の夕べ」を奉納。ロウソクに代わる光の帯を作り、コロナへの対応に奔走される医療従事者の皆様に感謝の気持ちを伝えるとともに、「コロナに負けない」というみんなの強い意志が込められました。



▲「万灯の夕べ」点灯式では、御誕辰祭を盛り上げようと宮司の叔父で作曲家の鈴木淳氏より愛弟子八代亜紀の「明日に生きる愛の歌」CD 1000枚を寄付。宮司より羽嶋防府観光コンベンション協会会長を通じて参拜者に無料で配られました。

日誌抄

(令和二年六月〜十二月)

毎月1日、15日、25日は月次祭
 毎月1日は朔日詣り(朝粥会)
 毎月25日は天神市(縁日)※月次茶会(全て中止)
 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止の為※中止・※影響関連事項

6月1日
 梅ちぎり(※園児・敬神婦人会奉仕)
 朝日詣り※朝粥会
 防府天満宮公式HPリニューアル、※客殿を閉鎖し祈願受付所を御守授与所へ移動(天神様に守られていた天満宮のコロナ対策フライヤー発行、単独祈願受付開始)
 役員会
 天神山境界線確認登山
 総代就任奉告祭・正式参拝
 防府菊花会総会
 総代就任奉告祭

7月1日〜7日
 30日 夏越神事・大祓式・お田植祭
 24日 七夕まつり(期間中笹飾り短冊奉納、光の斎庭(傘玉アートのみ)、七夕笹飾り奉納(佐波幼稚園、双葉幼稚園・多々良幼稚園・松崎小学校放課後教室、松崎幼稚園・瑞祥幼稚園)※参拝
 23日 22日 9日 3日
 総代就任奉告祭
 総代就任奉告祭

7月1日
 30日 夏休み子ども教室
 25日 例年7月の諸行事(松崎・佐波地区子供会清掃奉仕、天神囃子梅っ子おはやし台宿)
 19日 梅の土用干し開始
 18日 御誕辰祭(夏祭り)
 15日 万灯の夕べ(ブルーライト特別編)、文芸ボンボリ奉納
 12日 (ピアガーデン・ゆかた茶会(敬神婦人会)、献灯ボンボリ)
 10日 万灯祭・同点灯式
 7日 奉納清書奉仕祭並び同展覧会形式・剣道大会・子供供養みこし・カラオケ大会・防府天神太鼓奉納演奏・大茶碗茶会(山本百次会)
 5日 豊饗祈願祭・夫婦円満祈願祭・柔道大会・遠的弓道大会・古武道大会・浴衣&歌謡コンサート
 4日 御誕辰祭当日祭、大花火大会、和太鼓奉納演奏・クラブを楽しもう・少年剣道大会・邦楽コンサート(茶室)
 3日 御旅所整備伐採作業
 2日 神輿の不出御と裸坊奉仕無しが決定
 1日 ※節分祭牛替神事意見交換会
 山口県教育関係神職協議会10名様正式参拝
 ※月次茶会

8月1日
 3日 5日
 30日 25日 19日 18日 15日 12日 10日 7日 5日 4日 5日 2日 1日
 ※朝粥再開
 林隆雄様「アマビエ像」奉納、自分で作るうアマビエの御礼でコロナ退散!を開始
 乗馬クレイン多々良「ポニーとふれあい」筆まつり※筆まつり七夕書道展並び表彰式
 七夕祈願祭
 ※コロナ感染ユーチューバー立ち寄り
 表参道に長州精物記念館オープン
 防府天満宮勝ち牛杯氏子対抗ゴルフ大会
 ※職員PCR検査、全員陰性
 ※職員二班編成による奉仕体制再開
 ※月次茶会
 ※夏休み子ども教室
 ※例年7月の諸行事(松崎・佐波地区子供会清掃奉仕、天神囃子梅っ子おはやし台宿)
 梅の土用干し開始
 御誕辰祭(夏祭り)
 万灯の夕べ(ブルーライト特別編)、文芸ボンボリ奉納
 (ピアガーデン・ゆかた茶会(敬神婦人会)、献灯ボンボリ)
 万灯祭・同点灯式
 ※(奉納清書奉仕祭並び同展覧会形式・剣道大会・子供供養みこし・カラオケ大会・防府天神太鼓奉納演奏・大茶碗茶会(山本百次会)
 豊饗祈願祭・夫婦円満祈願祭・柔道大会・遠的弓道大会・古武道大会・浴衣&歌謡コンサート
 御誕辰祭当日祭、大花火大会、和太鼓奉納演奏・クラブを楽しもう・少年剣道大会・邦楽コンサート(茶室)
 御旅所整備伐採作業
 ※裸坊奉仕三役会(今年の御神幸祭で御綱代・神輿の不出御と裸坊奉仕無しが決定)
 ※節分祭牛替神事意見交換会
 山口県教育関係神職協議会10名様正式参拝
 ※月次茶会

天神様の夏から冬

新役員・総代のご紹介

(敬称略)

責任役員 大浜悟史 十月一日付
 氏子総代 古屋 薫 六月二十二日付
 清水博道 六月二十四日付
 桑原高史 十月一日付

天神様から「幸せます」
 ※幸せますは山口の方言で「ありがたい」とか「嬉しく思う」との意味があります。

清掃奉仕
 6月4・8日
 6月28日他
 7月30日他
 10月10日
 11月17日

ご奉仕ありがとうございました。
 防府市役所有志様
 幸せますやぎーず様
 高川学園サッカー部様
 松崎地区老人会
 防府商工会議所青年部様

奉納品
 6月13日・7月25日 マスク130枚 山根伸太郎様
 7月2日 アマビエ像 林隆雄様
 7月31日 野菜 高川学園サッカー部様
 9月26日 中島美代子様
 11月23日 吉國貴子様



アルコール消毒液
 中島美代子様(中央)
 吉國貴子様(左)

作家高樹のぶ子様来宮

12月5日 千支の御柱 林隆雄様
 11月7日 マスク200枚 中村被服(株)様
 11月17日 マスク100枚 (株)八大様
 11月20日 御神幸祭器具 金百万円
 (株)磯野商店 代表取締役 磯野晶則様
 12月5日 千支の御柱 林隆雄様

花神子社参式

御神幸祭の
無事斎行を祈る祭

大行司役
藤井厚氏



小行司役
清水弘幸氏



花神子役
貞平 知里さん



▶当宮責任役員の中村被服(株)代表取締役中村頌様より縮小・順路変更した花神子社参式に華を添えようと奉仕者の為に梅鉢紋入マスク(写真下)200枚をご奉納頂きました。(写真上は当宮総代の同社専務中村大二郎氏)



御神幸祭

祭器具のひとつとして神名旗を、(株)磯野商店代表取締役磯野晶則様よりご奉納頂きました。



12月			11月			10月			9月		
31日	25日	22日	1日	7日	3日	1日	7日	4日	1日	7日	6日
25日	22日	21日	28日	26日	23日	30日	25日	22日	26日	25日	24日
16日	15日	9日	22日	20日	20日	21日	18日	18日	19日	14日	13日
5日	5日	17日	16日	15日	13日	10日	9日	8日	8日	8日	6日
		10日	15日	13日	8日	11日	10日	9日	6日	5日	30日
			23日	22日	22日				7日		28日
			27日	26日	23日						
			20日	19日	16日						
			15日	13日	8日						
			7日	3日	1日						
			22日	22日	22日						

臨時役員会
お頼み会
式典保存委員会、※朝粥会
鈴虫放生祭(大専坊) ※参列者無し
お籤上げ神事
台風10号
※職員二班編成による奉仕体制解除
防府菊会総会
お手廻り保存会理事會
御分靈奉送式・大小行司役宅祭
中島美代子様消毒奉納
秋季祖霊大祭、海軍少年電信兵第六十八期会慰霊祭
山陽小野田市立通生中学校3年生33名合格祈願祭
秋祭 ※月次茶会
菅公みらい塾(参集殿)
※例年9月の諸行事(お手廻り保存会宣誓式、敬神婦人会研修旅行、末社愛宕社権現祭(御神幸祭)、防府天満宮杯将棋名人戦
役員総代就任奉告祭、※朝粥会
花神子社参式役付児童説明会、印章祭
中村被服様花神子社参式用マスク200枚奉納
敬神婦人会役員会
防府商工会議所花手水奉納(至22日)
池坊奉納花展
花神子社参式(※縮小・順路変更) ※奉祝茶会
御神幸祭供養委員会総会、氏子青年部若梅会連連奉製下準備作業開始
※七五三受け入れ体制開始(土日祝のみ各殿受付)
松崎天神様起巻3D化事業動画撮影
防府天満宮勝ち牛杯氏子対抗ゴルフ大会
※月次茶会
山口県神社庁防府支部大麻頒布始祭(於参集殿)
※例年10月の諸行事(裸坊特別懇話会、裸坊安全協議会、愛情防府フリースポーツ、天神芸術村、書道バナー、巫女神楽舞研修)
朝粥会(於紅梅庵、すこいぞ防府秋の大イベント(酒垂神社日本酒まつり、銅馬居前に花のアーチ登場)、宇部市立厚南中学校3年生129名合格祈願祭
第六十五回防府菊花展(於後門前庭)
防飛二期生の碑慰霊祭
重文旧毛利家本邸画像堂保存修理竣工祭
芥川賞作家高橋のぶ子様参拝
氏子青年部若梅会連連奉製作業、第六十五回奉納菊花展表彰式
七五三、防府菊花会花手水奉納、幸せ写し隊撮影奉仕みどり保育園22名七五三詣参拝
注連縄取付作業氏子青年部若梅会奉仕、大職立ておはげ
大小行司夜々詣
防府天満宮杯少年野球大会
毛利家秋祭、菊花無料お裾分け
大職、※蔵出し
御神幸祭前夜祭
御神幸祭
すこいぞ防府オンライン祭御神幸祭 YouTube生配信(※御網代・神輿不出御、裸坊奉仕無し)
御神幸祭報賽祭・神上式(※天神おんな神輿、防府邦楽舞踊連盟奉納邦楽演奏会)
※蔵納め
※例年11月の諸行事(役員総代研修旅行、裸坊実行委員会、天神おんな神輿説明会)
破魔矢奉製始
例祭併せ神宮大麻頒布始祭、節分参与会、干支の御柱奉納
大職詞浄書会
合格はらまき洗濯
大職詞浄書会
正月臨時巫女奉仕者説明会
煤払い敬神婦人会奉仕、疫病退散門松設置
※天神おんな神輿写真コンテスト表彰式
防府天満宮「予祝詣」
古絵馬焼納神事、合格うけおい、マスク奉納式、受験合格祈願大絵馬設置(山口宇部空港、岩国錦帯橋空港)年越大祓式

TOPICS

猿田彦参上!!

猿田彦をご存知ですか？
猿田彦と呼び捨てしていますが、天孫降臨の際、瓊瓊杵尊を高天原から高千穂にご案内した立派な神様なんです。この神話に基づき今ではお祭りの先導役として重要な役目をしています。現在天満宮の御神幸祭には不在ですが、コロナ禍を猿田彦の風貌で追いやってほしいと願い、今年は特別に猿田彦に登場願いました。それにしてもあの猿田彦役をご奉仕頂いた方は誰だったのでしょうか？



▲文化庁主催の朗読公演会の為来県。スタッフと共に参拝されました。(写真中央宮司右側)

こころ 新たに 年の始めは天神様へ

初詣のご案内

旧年の神恩に感謝をするとともに、

新年の幸せを願う天神様へ

ご参拝頂きますようご案内申し上げます。



令和3年は
丑年です

交通規制について

元日から3日まで当宮周辺は交通規制があります。詳細は同封の「防府天満宮初詣おもてなしMAP」もしくは下記QRコードを携帯電話スマートフォンで読み取ってご確認ください。



令和
3年

新春の祭事行事

※新型コロナウイルス感染症の影響により変更となる可能性がございます

歳旦祭

1月1日 午前3時より

新始式

1月5日 午後3時より



七草粥の会

1月7日 午前6時30分より

※参集殿二階神殿にて行い、七草粥は容器に入れてお持ち帰り頂きます

貞宮遙拝式

1月11日 午前10時より

弓始式

1月11日 午後1時より



節分祭 2月2日

※開運招福豆撒きは2日に執り行います

豆撒きについては密集を避ける為、次の日程にて行います
13:30、14:00、14:30、15:00、15:30、16:00の計6回(例年は3回)

2日が節分祭なのは
124年ぶりです!

梅まつり 2月21日~3月7日

(2月下旬から3月上旬が見頃)

詳しくは同封のチラシをご覧ください

人形感謝祭 3月1日

捨てられない人形をお預かりします

受付:2月11日~2月28日
初穂料:5,000円以上

里親探し 3月1日~5日

可愛がってくださる方にお譲りします

牛替神事

2月2日~3日

※抽選後の餅撒きはありません



さかたり第106号
令和2年12月25日発行

発行所 防府天満宮社務所

〒747-0029山口県防府市松崎町14-1
TEL 0835-23-7700 FAX 0835-25-0001

防府天満宮

検索

facebook

twitter

Instagram

Times